



ULTIMA ルール
(キックボクシング&ムエタイ)

【開催階級】

■ 一般・日本最強決定トーナメント(男女別)

-42.5kg、-45.0kg、-47.5kg、-50.0kg、-52.5kg、-55.0kg、-57.5kg、-60.0kg、-62.5kg、
-65.0kg、-67.5kg、-70.0kg、-72.5kg、-75.0kg、-77.5kg、-80.0kg、+80.0kg

■ U15・日本最強決定トーナメント(男女別) ※低学年・高学年の区別はありません

-22.5kg、-25.0kg、-27.5kg、-30.0kg、-32.5kg、-35.0kg、-37.5kg、-40.0kg、-42.5kg、
-45.0kg、-47.5kg、-50.0kg、-52.5kg、-55.0kg、-57.5kg、-60.0kg、+60.0kg

【試合時間】

■ 準決勝：120 秒×2R(延長なし)

■ 決勝戦：120 秒×3R(延長 90 秒×1R)

※全カテゴリー、インターバル 45 秒。

【防具規定】

- ・各自用意：マウスピース・バンテージ (簡易可)、布製脛サポーター (U15 のみ)、膝サポーター、
ファールカップ (男子)、アブスメントガード (女子)
- ・主催者用意：グローブ、ヘッドギア、レガース (一般用)、**肘サポーター(ムエタイルールのみ)**

《防具詳細》

[U15 -30.0kg 以下]

8oz グローブ・布製脛サポーター・膝サポーター・ファールカップまたはアブスメントガード・マウスピース、
肘サポーター(ムエタイルールのみ)

[U15 -32.5kg 以上]

10oz グローブ・布製脛サポーター・膝サポーター・ファールカップまたはアブスメント
ガード・マウスピース、**肘サポーター(ムエタイルールのみ)**

[一般全クラス]

12oz グローブ・レガース (主催者用意)・膝サポーター・ファールカップまたはアブスメント
ガード・マウスピース、**肘サポーター(ムエタイルールのみ)**

※全試合ノーヘッドギア。

※一般は主催者支給のレガースを使用。U15 は布製脛サポーターを各自持参。

※一般であっても-50kg 以下で主催者支給のレガースのサイズが合わない場合は布製サポーターの持ち込み可能

※バンテージ内に異物(テーピングを用いたコヨリ等)を含ませることを禁止。発覚即失格。

《補足：ファールカップ》

ファールカップは鉄製を推奨する。プラスチック製も使用可だが、アクシデント時には自己責任となる可能性がある。

【勝敗】

《採点基準》

ダウン > ダメージ > クリーンヒット > リングジェネラルシップ

《採点方法》

- ・試合全体のトータルジャッジ。ジャッジ3名による旗判定。
- ※ジャッジが何らかの理由により意識を失った場合、第一優先でレフェリーによる裁定(レフェリージャッジ)、次点でビデオ判定にてジャッジを行う。

【共通ルール】

《回転技》

- ・回転蹴り・バックブロー・胴回し回転蹴り：可
- ・地面に手をつく技（センチャイキック等）：禁止

【個別ルール・キックボクシング】

《掴み（ワンキャッチ・ワンアタック）》

- ・掴みからの攻撃は1発まで可。
- ・首を掴んだ状態での振り回し・コントロールは禁止。
- ・蹴り足キャッチからの攻撃は1発まで（前進2歩以内）。
- ・膠着状態は即ブレイク。

《反則事項》

頭突き、ローブロー（金的）、噛みつき、顔面膝、肘打ち、膝関節への攻撃、後頭部・脊椎への攻撃、投げ、絞め技、さば折り、倒れた相手への攻撃、ブレイク後・ゴング後の攻撃、ロープ掴み、過剰アピール、挑発行為（舌出し等）、遅延行為（故意の転落、マウスピース吐出、ブレイク後の抱え込み等）、掴み後の2発以上の攻撃、蹴り足キャッチ後の3歩以上の移動、首相撲によるバランス崩し

【個別ルール・ムエタイ（肘打ち有り）】

《掴み（首相撲無制限）》

- ・蹴り足キャッチからの攻撃無制限(前進2歩まで)。
- ・膠着即ブレイク。

《反則事項》

頭突き、ローブロー（金的）、噛みつき、顔面膝、膝関節への攻撃、後頭部・脊椎への攻撃、投げ、絞め技、さば折り、倒れた相手への攻撃、ブレイク後・ゴング後の攻撃、ロープ掴み、過剰アピール、挑発行為（舌出し等）、遅延行為（故意の転落、マウスピース吐出、ブレイク後の抱え込み等）、蹴り足キャッチ後の3歩以上の移動

《ダウン・KO・TKO 規定》

- ・ノックダウンの場合、レフェリーは立っている選手を速やかにニュートラルコーナーに送り 8 カウントまで数える。9 カウントまでに立ち上がり継続の姿勢が取れずに 10 カウントを迎えた場合には KO とする
- ・2 ノックダウン形式とするが、1 回目のダウンでもレフェリーが危険と判断すれば TKO が宣言される。
- ・全ラウンドを通しレフェリーのダウンカウントが優先される。(ゴングに救われない)
- ・試合中、有効打において多量の出血、骨折などよりドクターが続行不可能と判断した場合には TKO とする。

《アクシデント対応》

- ・ワンマッチ：試合開始直後でもその時点での内容により判定を行う。
- ・トーナメント：1R 終了後であれば判定可。1R 未満であれば試合続行可能な選手がトーナメント進出。
※反則によるアクシデント時は両者失格となる。
- ・回復タイムは 90 秒以内。時間内に回復できない場合は上記の通り判定または不戦勝扱いとなる。
- ・ゴング・レフェリーストップ後の攻撃は原則禁止。ただしタイミングによってはレフェリーの判断により有効となる場合があるため、選手は試合終了まで気を抜かないこと。

【体重】

- ・計量時、規定体重を超過した選手は失格。
- ・計量受付時間内に規定体重まで落とし再計量をクリアした場合は出場可。
- ・トーナメントにおいて再計量失敗時は即失格となる。

【服装規定】

- ・上半身：上半身裸または T シャツ・ラッシュガード (ポケット・装飾のないもの) をパンツにインして着用。
※刺青のある選手は必ずラッシュガード等で隠すこと。
- ・下半身：ポケット、チャック、スパンコールなどの硬い装飾のないものを着用。
- ・パープラチアット、アングルサポーターの着用は自由。
- ・貴金属類 (ピアス・ネックレス等) の着用は禁止。
- ・足の爪は事前に切っておくこと。
- ・長髪はゴム等でまとめること。

【セコンド】

- ・セコンドは最大 2 名まで。インターバル中にリングへ入れるのは 1 名のみ。
- ・試合中、リングに物を置いたり、選手・ロープに触れてはならない。
- ・レフェリー、相手選手、相手セコンドへの罵声・暴言・中傷は厳禁。
- ・セコンドは最低 1 名必要。選手単独での参加は原則禁止とする。

【その他】

- ・判定・レフェリングに対する苦情・抗議は一切受け付けません。
- ・試合時着用の防具について、必ず出場者の責任の下把握し、正しく行うようにしてください(上記規定参考)。
後日、着用防具の不備が発覚した場合でも勝敗が取り消される可能性もございます。スタッフやレフェリーによるダブルチェックもしておりますが、最終的な責任は取りかねますので各自十分ご注意ください。
- ・試合順を把握し、自らの試合の 3 試合前にはリングサイドにて待機をお願い致します。コールがあった時点でリングに上がれない場合は遅延行為による減点または失格となりますのでご注意ください。